

～会計を通じて人に幸せを～

Hirai's レビュー

2014年 12月号 (No. 72)

平井会計事務所 税理士 平井満広

〒108-0023 東京都港区芝浦4-19-1

芝浦アイランドケーブタワー-2305号

電話:03-3452-7082 Fax:03-6303-3350

Mail:m_hirai@hirai-ao.com

URL:http://www.hirai-ao.com/

儲けはどこへ消えた？税理士探偵と“売上総利益”失踪事件

- 「消えてしまったんです。跡形もなく…」
か細い声でシェフが話す。
- 「そうなんだよ！先月はもっとあったのに！」
老婆がノート突きつけてくる。
- 「先月76%あった利益率が今月65%に下がっている」
私は眼の前の数字を読み上げた。
- 「今月の売上は\$60,000だから\$6,600の大損だわ！」
落ち込むシェフと怒鳴る老婆。対照的な親子だ。
- 「記録の改ざんやミスはないのか？」
私の質問に二人ともうなずく。
- 「先生、一体どういうことなのでしょう」
不安そうに質問するシェフに私は答えた。
- 「これは事件だ。とにかく調べてみよう」
- ◆**容疑者**
- 「考えられる容疑者は…」
私は想定される問題を黒板に書いていった。
- 「まず毎週水曜のランチ半額セール」
- 「半額セールの売上はここ数年ほとんど同じです…」
私もお気に入り毎週お世話になっているが、確かに見かける顔はいつも同じだ。
- 「食材の値上げは？」
- 「そういった事実ありません」
シェフがびっしりチェックをつけた請求書を見せる。
料理と同じく繊細で丁寧な仕事ぶりだ。
- 「食材の廃棄が増えてないかな」
- 「一つ残らず使ってるよ。ダンナの遺言でね」
老婆は頭を振って否定する。賞味期限が切れた食材は半額ランチに使ってるらしい。衝撃の事実だ。
- 「食材の横領もあり得る」
- 「在庫も毎日数えてるよ。記録とぴったりさ」
老婆が胸を張ってノートを広げる。スタッフが卵を一つ食べても老婆はすぐに気づくそう。賄い食も出してないらしい。労働環境は過酷だ。
- 「半額セールも食材の値上げ、廃棄、横領もシロ…」
私は黒板に書いた容疑者に次々と×印をつける。
- 「あとは売上除外だが…」
- 「ウチはメニューもお釣りもごまかしたことがないのが自慢なんだよ！」
おいおい賞味期限切れのランチは？と突っ込みそうになったが、老婆の必死の形相を見てやめた。

	価 格	数 量	
		ミス・ロス	不正
売上	半額セール	売上もれ？	売上除外
仕入	食材の値上げ	食材の廃棄	食材の横領

◆真犯人

- 「今月の売上が\$10,000、少ない」
私は老婆のノートを見て違和感を覚えた。前年同月に比べて当年同月の売上が少なすぎる。さらに日別の売上を見ると12/23, 24, 25の売上がほとんどない。
- 「あれ、おかしいな。今年は去年より忙しかったし、その3日間はパーティーが入ってたような…」
- 「逆に…先月の売上は\$10,000多すぎる」
先月の売上\$10,000が今月の売上だったらどちらも利益率が70%となる。
- 「そりゃ、パーティーの前金だ！」
老婆が何かを思い出したように叫ぶ。
- 「資金が厳しかったんで前金にしてもらったんだ」
- 「それでそのまま先月の売上にしたというワケか」
- 「すっかり忘れてたよ。やだね、モウロクしたもんだ」
老婆がヤレヤレとため息をついてノートを閉じる。
- 「ん？なにか分かったんですか？イジワルしないで私にも教えてくださいよ」
困惑顔のシェフの肩を叩いて私は真相を語り始めた。
- 「安心するんだ。誰も損をしていない」

	(誤)			(正)		
	11月	12月	合計	11月	12月	合計
売上	50,000	60,000	110,000	40,000	70,000	110,000
原価	12,000	21,000	33,000	12,000	21,000	33,000
粗利	38,000	39,000	77,000	28,000	49,000	77,000
粗利率	76%	65%	70%	70%	70%	70%

私はシェフからお礼のワインを受取り店を後にした。
これから水曜の昼は別の店に行くことにしよう。

※次回のレビューはお休みします。

☆ ブログもご覧いただけたら幸いです。(平日毎日更新)⇒http://blog.goo.ne.jp/hirai_tax/